

令和 8 年
5 月 12 日

No.90

ぎ かい の 広 場

市民と議会のかけはし



CONTENTS

特集「地域の担い手と議会」	2
一般質問	4
令和 8 年度予算	8

行政視察報告・アンケート回答の御礼	11
議案解説	12
意見交換会開催の募集	13
お知らせ・賛否結果一覧	14

特集 地域の担い手と議会

里山の魅力を守り、どう伝えていけるのか——。今号の特集では、地域資源を生かした取り組みの現場から、そのきっかけや思い、未来への展望まで、持続可能な営みを続ける地域の担い手の姿を紹介します。



櫻田 稔さん

【プロフィール】

里山の花畑・里の小屋 友の会代表。安中市上間仁田と富岡市との境にある崇台山（そうだいさん）のふもとにて里山の保全活動に取り組んでいる。

■令和6年3月18日、環境省の「自然共生サイト^{*}」に上間仁田の「里山の花畑と崇台山の山麓」が認定されました。具体的にはどのような活動をされているのですか。

櫻田さん：蛍が暮らせる環境を守りながら、1年を通して発生状況をチェックして、データもためているところが評価されました。それに、農薬を使わない田んぼづくりで、タガメなど絶滅危惧種も住める環境を守っています。さらに、しいたけの駒植え（菌糸を培養したものを原木に植え込むこと）体験をやったり、蛍の撮影会を開いたりして、県外からも多数の来場者が訪れます。夏にはブルービー^{*}やオオセイボウ^{*}等が数多く飛び交い、自然の豊かさも発信しています。こうした取り組みが評価されて、「自然共生サイト」に認定されました。

■活動を始めたきっかけを教えてください。

櫻田さん：時代に押されて耕作放棄地が増えていきました。その中で有志が手をかけ始めたの



崇台山のふもとにある里山



崇台山の大桐

※自然共生サイト … 令和5年度から環境省が認定している「民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域」。

※ブルービー … その鮮やかな青色と、珍しさから「幸せを呼ぶ青い蜂」とも呼ばれる。正式名称は「ルリモンハナバチ」。

※オオセイボウ … 空飛ぶ宝石と呼ばれる蜂。エメラルドグリーンの輝きは見た人を釘付けにする。



■活動を通してどのような成果を感じていますか。

櫻田さん：新聞で紹介されたことで団体のことが広く知られるようになりました。それで自然への理解を深める教育の場としての役割も感じていて、これからはネイチャーポジティブ[※]の考えも広めながら、教育も含めて活動を進めていきたいと思っています。

■来場者を増やす取り組みはありますか。

櫻田さん：ただ人を増やすのではなく、自然への影響を考えることを大事にしています。人が多く来過ぎると貴重な植物が損なわれる可能性もあるので、まず自然のことを理解してもらってから山に登る流れにしたいです。そうすることで、他の山とは違う魅力を感じてもらい、結果的に来場者も増やせればと思っています。

■今後はどのような活動を考えていますか。

櫻田さん：地域全体をひとつの視点で考えて取り組みたいと思います。具体的には、「学習の森」を拠点に崇台山とつなげて、遊歩道で回れるよ



活動を共にする仲間

左から櫻田さん、奥村さん、高橋さん、佐藤さん、浅賀さん

うにして、来訪者の流れを作りながら地域全体を活性化できればいいですね。

■議会や議員に対する印象、期待することなどありましたら教えてください。

櫻田さん：議員の方々は、上間仁田地域を大切に思ってくれていると感じます。さらに、ネイチャーポジティブを推進していただきながら、日本一の個体数が見られるブルービーを安中市の魅力として発信していただくなど、継続的に関わっていただければ嬉しいですね。

※ネイチャーポジティブ…日本語訳で「自然再興」といい、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」こと。